

健康生活支援実習（精神）

[実習] 第3学年 後期 必修 2単位

《担当者名》○八木 こずえco-yagi0913@hoku-iryo-u.ac.jp 宮地 普子 中安 隆志

【概 要】

精神に障害のある人々について、「生活」の観点から理解し、彼らに必要な看護活動を考え、多職種との協働ができる基礎的能力を養うことを目的とする。精神科の病棟において1名の入院患者を受け持ち、必要な看護の方向性を導き出す。また、地域生活を営む人々とコミュニケーションをはかり、精神障害からの回復（リカバリー）について考える。

【学修目標】

- 1.人間を生物的、社会的、文化的、歴史的、倫理的等の諸側面から捉えることを通し、精神に障害のある人々とその「生活」についての理解を深める。
- 2.精神に障害のある人々との相互作用を通して自己洞察を深め、コミュニケーションや行動の様々なありようとその意味について考えることができる。
- 3.回復の段階や生活環境に応じて、必要な看護ケアを実践するための思考のプロセスが展開できる。
- 4.精神に障害のある人々の回復と生活を支える看護の役割及び多職種との協働について考えることができる。
- 5.精神医療保健福祉の現状の課題と将来の展望について考えることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1週目	病院実習（Aグループ） 1.患者－看護者関係の理解を深める 2.対象理解を深め必要な看護ケアを導きだす	患者とのかかわりの実践とプロセスレコードによる振り返りを通して、患者－看護者関係の理解を深める。かかわりを通して理解したことと診療記録・看護記録を照らし合わせながら全体像を捉え、必要な看護ケアを考察する。これらの内容を実習記録およびカンファレンスで説明できる。	八木
	病院実習（Bグループ） 1.患者－看護者関係の理解を深める 2.対象理解を深め必要な看護ケアを導きだす	患者とのかかわりの実践とプロセスレコードによる振り返りを通して、患者－看護者関係の理解を深める。かかわりを通して理解したことと診療記録・看護記録を照らし合わせながら全体像を捉え、必要な看護ケアを考察する。これらの内容を実習記録およびカンファレンスで説明できる。	宮地
	病院実習（Cグループ） 1.患者－看護者関係の理解を深める 2.対象理解を深め必要な看護ケアを導きだす	患者とのかかわりの実践とプロセスレコードによる振り返りを通して、患者－看護者関係の理解を深める。かかわりを通して理解したことと診療記録・看護記録を照らし合わせながら全体像を捉え、必要な看護ケアを考察する。これらの内容を実習記録およびカンファレンスで説明できる。	中安
2週目	地域実習（Aグループ） 地域の社会資源を活用して生活している人々と交流し、精神障害からの回復について考える	施設のプロセスに参加しながら様々な対象者とコミュニケーションをはかり、生活の実際や本人の思いを知る。また、地域における支援の実際を見学し、精神障害からの回復（リカバリー）について考察する。これらの内容を実習記録およびカンファレンスで説明できる。	八木
	地域実習（Bグループ） 地域の社会資源を活用して生活している人々と交流し、精神障害からの回復について考える	施設のプロセスに参加しながら様々な対象者とコミュニケーションをはかり、生活の実際や本人の思いを知る。また、地域における支援の実際を見学し、精神障害からの回復（リカバリー）について考察する。これらの内容を実習記録およびカンファレンスで説明できる。	宮地
	地域実習（Cグループ） 地域の社会資源を活用して生活している人々と交流し、精神障害からの回復について考える	施設のプロセスに参加しながら様々な対象者とコミュニケーションをはかり、生活の実際や本人の思いを知る。また、地域における支援の実際を見学し、精神障害からの回復（リカバリー）について考察する。これらの内容を実習記録およびカンファレンスで説明できる。	中安

【授業実施形態】

面接授業

※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】
導入している

【評価方法】
実習状況および提出物をもとに総合的に評価する。
目標到達度60%、実習参加姿勢40%

【参考書】
阿保順子ほか著 統合失調症急性期看護学 すぴか書房 2021年
阿保順子 精神科看護の方法 医学書院 1995年
田中美恵子編著 精神看護学 学生-患者のストーリーで綴る実習展開 第3版 医歯薬出版 2024年

【学修の準備】
精神看護学、精神病態と看護、および精神看護学演習の学習内容を教科書と配付資料をもとに復習し、日々の疑問や目標達成に必要な事項を調べる（復習1時間）。
ガイダンスで説明した事前学習に取り組み、日々の実習行動計画を立てる（予習1時間）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】
DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。
DP2：看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。
DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

【実習期間・実習施設】
実習期間：指定された2週間
1. 2026年1月12日～2026年1月23日
2. 2026年1月19日～2026年1月30日
3. 2026年2月9日～2026年2月20日
4. 2026年2月23日～2026年3月6日

実習施設：旭山病院 石金病院 五稜会病院 精神保健福祉関連施設

【実務経験】
八木こずえ（精神看護専門看護師）、宮地普子（看護師）、中安隆志（精神看護専門看護師）

【実務経験を活かした教育内容】
精神科病院での看護師、精神看護専門看護師としての実務経験を活かし実践的な教育を行う。

【その他】
この科目は主要授業科目に設定している